

山口県歯科医師会

山口県歯科医師会は発足100周年を迎えました。現在も県民の皆様が口腔の健康に関して多くの活動をおこなっています。健康増進法の制定施行で歯を含めた口腔の健康を図ることが極めて大切であることが示されました。8020運動は80歳で20本の歯を残そうという運動ですが、特に若い人たちがこの8020を達成し得ることを柱において事業展開しています。学校歯科保健の充実のため日本でも初めてのデータベースを導入し、児童生徒の口腔衛生の実践をおこなっております。同時にフッ化物洗口(フッ素でうがいをする)推進にも努力しております。

平成15年度の山口県歯科医師会の調査では、県内の「口の中にもがんができる」の認識は3割程度であったことを踏まえて、成人には口腔がんの啓発と検診を計画しております。

在宅要介護者(寝たきり)で外出



山口県歯科医師会ホームページ
http://www.ygda.or.jp/



できない)の方々の往診もおこなっておりますので、かかりつけ歯科医にご相談いただければ、ご自宅や入院先で歯科診療を受けることができます。詳しくは山口県歯科医師会へご連絡ください。ホームページにアクセスしてください。

社団法人 山口県歯科医師会
理事(公衆衛生担当) 山内 高史

「子どもの元気ひろば」

萩健康福祉センター
(現 健康増進課) 松永真由美

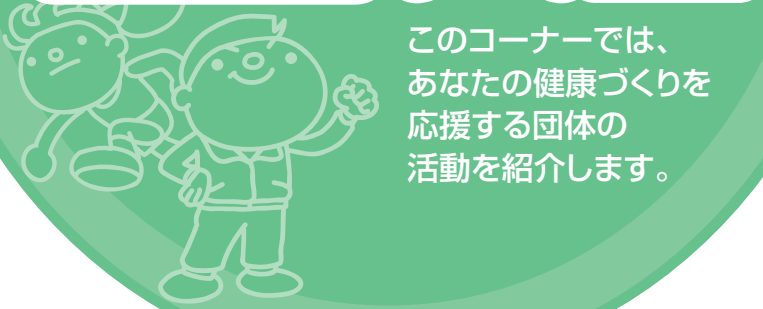


萩健康福祉センターでは、毎年「子どもの元気ひろば」を開催しています。生まれた時に少し体重の少なかった子どもさんやそのお父さんお母さんたちが集まり、小児科の先生のお話を聞いたり、小さく生まれた子どもさんを育てた経験を持つ先輩ママと話したりと和やかな雰囲気の「元気ひろば」です。

参加するお父さんお母さんたちの多くが、子どもが小さく生まれたために、「この子は他の子のように大きくなるだろうか?」「どうやって育児していけばいいんだろう?」「元気に育ってくれるだろうか?」など他のお父さんお母さんよりも多くの不安を抱えています。こういった場で、同じような体験や心配をした人同士で話

応援します!! あなたの健康づくり

豊かな人生



このコーナーでは、あなたの健康づくりを応援する団体の活動を紹介します。

団体紹介

こちらでは毎回健康やまぐち21推進県民会議参画機関の活動についてご紹介いたします。

山口県歯衛生士会



こんにちは、歯科衛生士会です。“健康”は全ての人のための願いです。私達歯科衛生士会はそのお手伝いをさせていただいております。毎日おいしく、楽しく食事をすることは健康の源です。その入り口でもある口腔内をいつも清潔に保

つよう、歯みがきやうがい、歯肉の清掃等を、妊産婦、乳幼児、小学、中学、高校生、そして成人、高齢者と生涯を通じて、それぞれにあった方法でお口の中をきれいにする指導や処置をさせていただいております。

高齢化社会となりました現在、”8020運動”である”80才までに20本の歯を残そう”を目標に、特に高齢者や要介護者の口腔内を清潔に保ち、出来るだけ自分の歯で食事し、生きる意欲をもっといただける様努力してまいります。主として歯科診療所が活動の場ですが、その他の会の活動としては、市町村の健診事業参加、各種イベント、ケアハウス等の高齢者施設、心身障害者施設での介護と指導、老人クラブ等で、皆様方に口腔内の清掃に意識をもっております。

私共歯科衛生士に、どこでもお声をかけていただくことを楽しみにしています。

社団法人 山口県歯衛生士会
会長 平木 睦



「生える前から歯はお騒がせ」

由宇町保健センター

保健師 野原 芳江

『妊娠中の歯の治療は?』『あつ歯が生えた!!』いつの時期にも母親にはうれしさと不安があります。

9カ月児対象の“びよちゃんくらぶ”はブックスタートとして、司書が本を読み聞かせをすることにも、保健師・栄養士・歯科衛生士がゆつたりと育児相談にのって



いますが、その中に、特に歯が生え始めて間もないこの時期、歯への関心は高く『磨き方は?』『今、気を付けることは?』など、質問も多く、実技指導を交えて対応しています。もちろん妊娠中にはパパ&ママスクールで歯科医による健診と指導が受けられます。



こうして歯を大切に育てられた子どもたちも、就学児健診では、むし歯にかかっている率が3歳児健診時の2倍になっているのが厳しい現実。

そこで、3年前から永久歯が生え始める時期の歯質強化のために、町内の幼稚園・保育園長児を対象に「集団フッ化物洗口(フッ素でうがいをすゑ)」を始めています。年度初めに歯科衛生士から指導を受けた園児たちは、仲良く並んで週5日間、「シヤカシヤカ」歯みがき、「ぶくぶく」フッ素でうがいを続けています。

家庭で歯の健康を守り続けるのは大変なことです。顔の大きさに不似合いなほど大きく健康的な学童期の前歯にエールを送ります。

エッセイ

こちらでは毎回県下各地の健康福祉センターや保健センターで働く人たちのエッセイをご紹介します。



したり質問し合ったりすることが、お父さんお母さんの気持ちを楽しみ、元気づけてくれているようです。また、先輩ママのお話は、日常、育児をしていく上でとても参考になると同時に、頑張っているお父さんお母さんを勇気づけてくれたようです。

「子どもの元気ひろば」はいつも和気あいあい、参加者同士が仲良く、本音を語り合い共感し合える場になっています。

萩健康福祉センターでは、このようなお父さんお母さんたちの育児に対する不安が少しでも解消でき、子どもがのびのびと元気に成長していく姿を見られる「子どもの元気ひろば」をこれからも続けていきたいと思っています。